



講 演 会

要参加申込

わたしたちはどのように「判断」しているのか～論理的思考から批判的思考へ～



講師紹介 岩永 正史 iwanaga, masafumi

1952年生まれ。山梨大学教育人間科学部学校教育課程言語教育コース国語教育系 教授(国語科教育学)。東京都公立小学校教諭, 東京学芸大学附属小金井小学校教諭を経て現職。認知心理学の研究に基づく国語科教育研究の可能性を学会に示した先駆者の一人。児童期の説明スキーマの発達とそれに基づく説明・論説文教材の開発に取り組んでいる。

講師からのメッセージ

わたしたちが日常的に行っている、けっこう高度な「論理的判断」の構造を解き明かし、そこから、論理的思考力を育て、さらに批判的思考へとつなげていく道筋を考えたいと思います。

2015年 9月30日(水) 10:30~12:00

教育未来館 3階多目的ホール



○お申込は、e-mailにて右記のアドレスまでお願いします。 y-hasegawa@office.aichi-edu.ac.jp  
件名は、「岩永先生講演会申込」として、下記内容をお知らせください。

①氏名, ②所属, ③現職教員の方は勤続年数(大学教員は③は不要です)

○お問合せは、研究推進部 高度教員養成支援課 教育臨床係(担当:長谷川)までお願いします。

電話:0566-26-2316 (内線 2316)

平成 27 年 8 月 3 日

各 位

教職キャリアセンター長  
野田 敦敬

教職キャリアセンター 教科教育学研究部門  
講演会のご案内

平成 20 年度版学習指導要領において「思考力・判断力・表現力」が目的とされ、言語活動の充実が謳われました。単元を貫く言語活動が強調され、授業では活動や交流が盛んに実践されています。そんな中、すでに新たな指導要領に向けて、「21 世紀型スキル」「コンピテンシー」「アクティブラーニング」「批判力」さまざまな用語が飛び交っています。教職キャリアセンター教科教育学研究部門では、これら新たなキーワードを各教科がどのように向き合い、取り組むのかをテーマとして研究を続けています。

その基調提案的な意味をこめて、講演会を開くことになりました。講師として山梨大学教育学部の岩永正史教授をお招きしました。岩永教授は認知心理学をベースとしながら論理的・批判的思考力と言葉の問題を追求され、実践的な提案や発言を続けておられます。岩永教授の講演をもとに次の教育を考える手がかりを得たいと考えています。本学の教員はもとより、広く院生・学生の参加を呼びかけます。奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

(教科教育学研究部門代表 丹藤 博文)

記

1. 日 時 平成 27 年 9 月 30 日 (水) 10:30-12:00
2. 場 所 教育未来館 3 階多目的ホール
3. 参加費 無 料
4. 内 容 講演題 わたしたちはどのように「判断」しているのか  
～ 論理的思考から批判的思考へ ～  
講 師 岩永正史 (山梨大学教授)
5. 申込方法

e-mail にて右記アドレスまでお願いします。 y-hasegawa@office.aichi-edu.ac.jp  
件名は「岩永先生講演会申込」として、下記内容をお知らせください。

①名前 ②所属 ③現職教員の方は勤続年数 (大学教員は③は不要)

【本件問合せ先】

研究推進部高度教員養成支援課

担当:長谷川 0566-26-2316 (内線 2316)